

川路郷家屋移転記念碑

想いおこす三六災害

三六災害により、川路地区の家屋は壊滅的な打撃を受け、災害後移転した。
1966（昭和41）年に現在の堤防が完成し、家屋の移転が終わったことを記念して記念碑が建てられた。
川路駅周辺の旧国道沿いには170戸が移転した跡地に塀や門が残されている。

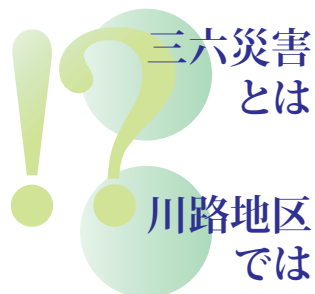
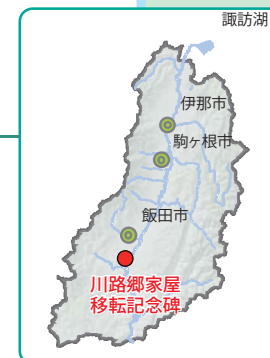


川路神社の敷地の「川路碑林」にある石碑



information

- **アクセス**
飯田線川路駅から
700m
徒歩→9分
- **所在地**
飯田市川路



三六災害
とは

川路地区
では

1961（昭和36）年に起きた梅雨前線による豪雨災害。洪水災害と土砂災害の組み合わせにより、死者99人、行方不明者31人、浸水戸数12,452戸におよぶ大規模災害が発生。川路地区にも未曾有の大水害をもたらした。

災害処理にあたり、災害後の不衛生な状況の中で伝染病が起ることを恐れ、殺菌や消毒をこまめに行った結果、川路地区では一人も伝染病患者を出すことはなかった。



（国土地理院の数値地図25000（地図画像）を使用）